

令和7年度

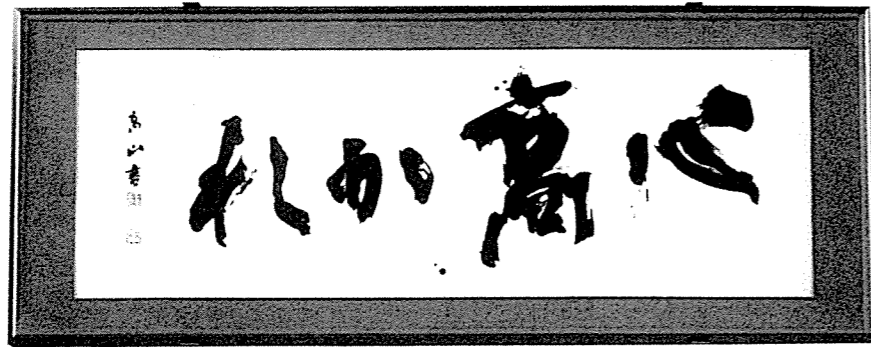


学校要覧



Mikuni High School in April

福井県立三国高等学校



目 次

1.	沿革の概要	1
2.	歴代校長	3
3.	職員構成	3
4.	校訓・教育方針	4
5.	努力目標	5
6.	校時表	7
7.	生徒数	7
8.	教育課程	8
9.	校務分掌	9
10.	年間行事予定	10
11.	生徒に関する調査	14
12.	図書館	16
13.	卒業生に関する調査	17
14.	校舎配置図	



望み遠かれ若人は みどりが岡の松かげに 海はまどかにたたり ただひといろの藍青に 望み遠かれ若人は	三	ゆかしき友を友垣に めぐりてのぼる若草の 学の小径のかたらひや ひそかにほふ蘭の香の ゆかしき友を友垣に	二	心高かれ若人は 雲美しき朝あけに はるかにのぞむ白山の 雪の嶺よりいやくよく 心高かれ若人は	一	作詞 林三好 作曲 伯達 人治	校 歌
---	---	--	---	--	---	-----------------------	-----



1. 沿革の概要

《前身校》

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| 1909 明治42年 4月 | 坂井郡立女子実業学校創設 |
| 1922 大正11年 4月 | 福井県立三国中学校創設 |
| 1923 大正12年 4月 | 郡制廃止により県へ移籍、福井県立三国実業女学校と改称する。 |
| 1926 大正15年 4月 | 組織を変更し福井県立三国高等女学校と改称する。 |
| 1946 昭和21年 9月 | 災禍に遭って中学校全校舎が焼失する。 |

《福井県立三国高等学校》

- | | |
|---------------|--|
| 1948 昭和23年 4月 | 学制改革により福井県立三国中学校および福井県立三国高等女学校を統合して福井県三国高等学校が設立される。 |
| 1948 昭和23年 6月 | 定時制高等学校を本校並びに鶉村に併設する。
(鶉分校男子…農業コース、同女子…被服コース) |
| 1953 昭和28年12月 | 鶉分校に農業実習教練竣工 (本校の旧校舎135m ² を移転) |
| 1954 昭和29年 4月 | 定時制 (昼間部) 募集を停止する。 |
| 1957 昭和32年 4月 | 福井県立三国高等学校と改称する。 |
| 1959 昭和34年 3月 | 定時制 (昼間部) 廃止となる。 |
| 1959 昭和34年 4月 | 町村合併に伴い鶉分校を川西分校と改称する。 |
| 1959 昭和34年 4月 | 川西分校に独立校舎1棟竣工 (旧鯖江女子師範寄宿舎移転) |
| 1959 昭和34年 5月 | 本館落成 (木造) |
| 1962 昭和37年 9月 | 新体育館竣工 |
| 1962 昭和37年10月 | 川西分校に体育館竣工 (旧福井農林武道館) |
| 1963 昭和38年 1月 | 川西分校農業実習教練半焼 |
| 1963 昭和38年 4月 | 家庭科を家政科とする。 |
| 1964 昭和39年 3月 | 川西分校に農業実習教練竣工 |
| 1965 昭和40年 3月 | 本校夜間定時制給食堂竣工 |
| 1965 昭和40年 4月 | 川西分校昼間定時制より全日制普通科に移行。
(男子…農業コース、女子…被服コース) … (昭和43年3月廃止) |
| 1965 昭和40年 5月 | 川西分校一部増改築竣工 (音楽・理科兼用室、宿直室、応接室) |
| 1966 昭和41年 4月 | 文部省指定生徒指導研究推進校に指定される。 |
| 1967 昭和42年 3月 | 本校外運動場拡張造成 |
| 1967 昭和42年 8月 | 本校25メートルプール竣工 |
| 1967 昭和42年10月 | 川西分校校舎一部増改築 (生徒玄関、更衣室、便所) |
| 1967 昭和42年11月 | 文部省指定生徒指導研究発表会を行う。 |
| 1968 昭和43年 3月 | 定時制屋外運動場夜間照明竣工 |
| 1969 昭和44年 9月 | 緑陵会館竣工 |
| 1970 昭和45年 1月 | 新体育館照明増設 |
| 1970 昭和45年12月 | 川西分校農舎竣工 |
| 1971 昭和46年 1月 | 武道場竣工 |
| 1971 昭和46年 8月 | 川西分校農器具置場竣工 |
| 1972 昭和47年 8月 | 川西分校教務関係倉庫竣工 |
| 1973 昭和48年 4月 | 定時制 (夜間部) 募集を停止する。 |
| 1976 昭和51年 3月 | 定時制 (夜間部) 廃止となる。 |
| 1976 昭和51年 4月 | 商業科募集停止、普通科2学級増 |
| 1976 昭和51年 6月 | 校舎改築第一期工事普通教室教棟 (鉄筋3階建) 竣工 |
| 1978 昭和53年 3月 | 商業科第27回卒業生をもって商業科廃止 |
| 1978 昭和53年 7月 | 校舎改築第二期工事特別教室教棟 (鉄筋3階建) 竣工 |
| 1979 昭和54年 4月 | 県教委指定教育機器研究校に指定される。 |
| 1979 昭和54年 8月 | 校舎改築第三期工事本館 (鉄筋3階建) 竣工 |
| 1980 昭和55年 9月 | 第二体育館竣工・礼法館竣工 |
| 1980 昭和55年11月 | 自転車置場完成 |

1980	昭和55年12月	前庭完成
1981	昭和56年 3月	中庭（本館）完成
1981	昭和56年 6月	県教委指定教育機器研究発表会を行う。
1981	昭和56年 8月	第一体育館改修
1981	昭和56年11月	中庭（特別教棟）完成
1982	昭和57年11月	本校創立70周年記念式典挙行
1983	昭和58年 4月	文部省指定格技指導推進校となる。
1985	昭和60年 4月	県教委指定生徒指導研究指定校となる。
1985	昭和60年11月	文部省指定格技指導発表会を行う。
1986	昭和61年11月	県教委指定生徒指導研究発表会を行う。
1988	昭和63年 4月	川西分校本校へ移転
1988	昭和63年11月	本校創立80周年分校40周年記念式典挙行
1988	昭和63年11月	多目的雨天練習場完成
1989	平成元年 4月	川西分校募集を停止する。
1989	平成元年 4月	武道館完成
1989	平成元年 8月	防球ネット新設
1989	平成元年 9月	プール改修工事
1990	平成2年 2月	クラブハウス竣工
1991	平成3年 3月	川西分校閉校記念式挙行
1991	平成3年 4月	国際サロン設置
1991	平成3年 4月	県教委指定新教育課程推進研究指定校となる。
1991	平成3年10月	グラウンド拡張バックネット改修
1992	平成4年 2月	第一体育館リフレッシュ工事完了
1992	平成4年 3月	コンピューター室設置・LL 教室設備改修
1992	平成4年10月	県教委指定新教育課程推進研究発表会を行う。
1993	平成5年 8月	緑陵会館全館改装
1996	平成8年 8月	グラウンド改修工事
1997	平成9年 3月	ワープロ室設置
1998	平成10年 3月	CAI 学習装置整備
1998	平成10年11月	中庭（特別教棟）を緑化整備
1998	平成10年12月	本校創立90周年記念事業によりグラウンド照明増設
1999	平成11年 2月	テニスコート改修工事竣工
2001	平成13年 1月	普通教棟リフレッシュ・耐震補強建築工事竣工
2002	平成14年 3月	屋外トイレ完成
2003	平成15年 9月	本館耐震補強建築工事竣工
2004	平成16年 6月	一号館普通教室に冷房設置
2005	平成17年 4月	校訓を制定
2007	平成19年11月	福井県視聴覚研究大会を行う。
2008	平成20年10月	本校創立100周年記念式典挙行
2008	平成20年10月	本校創立100周年記念事業により緑陵会館全館改装
2008	平成20年12月	第一体育館耐震補強建築工事竣工
2011	平成23年11月	特別教棟防火工事
2012	平成24年 7月	第一被服室に冷房設置
2014	平成26年 4月	家政科募集停止
2015	平成27年 4月	普通科に「人間福祉コース」「ソフトウェア活用コース」を設置
2016	平成28年 3月	家政科閉科
2016	平成28年 9月	防球ネット増設
2018	平成30年 6月	本校創立110周年記念事業により冷房設備の改修
2019	平成31年 2月	第二体育館リフレッシュ工事竣工
2020	令和2年 3月	文部科学省地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）に指定される。
2022	令和4年 3月	二号館（東側）リノベーション工事竣工
2024	令和6年 3月	二号館（西側）リノベーション工事竣工

2. 歴代校長

福井県立三国中学校

1. 松尾 捨次郎 (大11. 1.28～大14. 1.23)	6. 富澤 治 作 (昭13. 4～昭16. 3)
2. 矢口 親 六 (大14. 1.14～大14.12.16)	7. 中村 正 雄 (昭16. 4～昭18. 3)
3. 三木 武 次 (大14.12.17～昭2. 3.17)	8. 下中野 栄 蔵 (昭18. 4～昭22. 3)
4. 江坂 広 雄 (昭2. 3.18～昭10. 1.23)	9. 竹内 静 (昭22. 4～昭23. 3)
5. 関根 恒 作 (昭10. 1.24～昭13. 3)	

福井県立三国高等女学校

1. 並木 立 弥 (明42. 4～明44. 5)	7. 富澤 治 作 (昭7. 4～昭13. 3)
2. 張間 多 聞 (明44. 6～大2.11)	8. 見浦 弥 七 (昭13. 4～昭16. 3)
3. 室山 貞 (大2. 4～大2.12)	9. 平野 照 (昭16. 4～昭18. 3)
4. 稲枝 俊太郎 (大2.12～大4. 1)	10. 藤村 徳 助 (昭18. 4～昭21. 3)
5. 桶 糸次郎 (大4. 2～大13. 1)	11. 竹内 静 (昭21. 4～昭22. 3)
6. 坂井 慶 造 (大13. 2～昭7. 3)	12. 渡辺 敬 一 (昭22. 4～昭23. 3)

福井県立三国高等学校

1. 渡辺 敬 一 (昭22. 4～昭27. 3)	15. 橋本 民 夫 (平5. 4～平8. 3)
2. 山本 寿 (昭27. 4～昭34. 3)	16. 山田 三樹雄 (平8. 4～平10. 3)
3. 塩見 源一郎 (昭34. 4～昭36. 3)	17. 澤田 昌 紀 (平10. 4～平13. 3)
4. 梅 健 (昭36. 4～昭41. 3)	18. 上杉 一 郎 (平13. 4～平16. 3)
5. 南部 忠 夫 (昭41. 4～昭44. 3)	19. 坂下 貞 雄 (平16. 4～平18. 3)
6. 海貝 茂 (昭44. 4～昭48. 3)	20. 羽根田 繁 紀 (平18. 4～平20. 3)
7. 小林 豊 次 (昭48. 4～昭50. 3)	21. 前田 義 照 (平20. 4～平22. 3)
8. 清水 喜久雄 (昭50. 4～昭54. 3)	22. 西永 嘉 和 (平22. 4～平24. 3)
9. 釈氏 浄 諦 (昭54. 4～昭56. 3)	23. 丹羽 俊 彦 (平24. 4～平26. 3)
10. 印牧 邦 雄 (昭56. 4～昭58. 3)	24. 小林 成 樹 (平26. 4～平29. 3)
11. 前川 勝 良 (昭58. 4～昭61. 3)	25. 斉川 清 一 (平29. 4～平31. 3)
12. 伊藤 昭 三 (昭61. 4～平元. 3)	26. 上山 康一郎 (平31. 4～令4. 3)
13. 牧田 康 秀 (平元. 4～平3. 3)	27. 富澤 宏 二 (令4. 4～令6. 3)
14. 長谷川 重 治 (平3. 4～平5. 3)	28. 木村 花 栄 (令6. 4～)

3. 職員構成

	学	教	国	地	数	理	保	芸	外	家	養	実	講	A	小	事	主	主	事	校	購	小	校	歯	薬	茶	琴	小	合
校	長	頭	語	民	学	科	育	術	語	庭	護	手	師	T	計	長	査	任	員	員	買	計	医	医	師	師	講	計	
男		1	3	4	5	4	3	1	3				8	1	33	1	1		2	2		6	1	1				2	41
女	1		1	1			1	2	3	1	1	2	3		16			1			1	2			1	1	1	3	21
計	1	1	4	5	5	4	4	3	6	1	1	2	11	1	49	1	1	1	2	2	1	8	1	1	1	1	1	5	62

4. 校訓・教育方針



スクール・ミッション【使命】

地域に根ざした学校として、坂井市の協力を得ながら地元の人たちとの交流・連携を深め、豊かな文化・環境資源を有効活用した学習活動を通して地域の持続可能な発展を構想する力を育むとともに、自らの可能性を主体的に切り拓く力を養い、地域社会に幸せや希望をもたらすことができる人材を育成する。

校訓

「心高かれ」

教育目標

「志を高く持って自律的に行動し、地域社会に希望や幸せをもたらす人を育成する。」

グラデュエーション・ポリシー【育てたい生徒像】

- 高みをめざし、自ら考え、判断して行動できる人
(自分の能力を最大限に伸ばし、他者の幸せをも視野に入れて責任ある行動ができる人)
- 社会の変化に、柔軟でしなやかな対応ができる人
(課題意識をもって自ら環境に働きかけ、既存の枠組みに縛られず解決策を模索できる人)
- 他者とつながり協働して、地域社会の未来を創る人
(他者と協働して、地域ならではの魅力や課題を踏まえた地域社会の未来を構想できる人)

【育成したい力】

1. 学びを究める力
2. 自分の限界や新しいことに挑む力
3. 人と地域を結ぶ力
4. 自分につながる人たちを愛する力

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

- 生徒の多様な能力や適性等に即して教育課程を編成する。
- 生徒が自らの人生をデザインし、その実現を支援するための講義や演習、実習等を適切に組み合わせる。
- 総合的な探究の時間を中心に、各教科・科目、特別活動や課外活動の場面でも「探究」の視点を導入する。
また、地域社会など自分が関わるコミュニティを広く学習活動の場とし、県内の大学や三国会所、アーバンデザインセンター坂井(UDCS)等、地域の支援を受け、探究学習を実践する。
- I系、II系のコースを設定し、その特徴に応じて教科・科目を編成する。
I系…5教科型選抜に対応し、文理混合クラスとする。
II系…多様な進路希望と選抜方式に対応し、2年次以降は選択科目の幅を広げ、個々の能力の伸長をはかる。
・芸術科目の継続履修 ・「体育」…「スポーツII」等
・「家庭」…「保育基礎」「ファッション造形基礎」「フード・デザイン」等

アドミッション・ポリシー【入学時に期待される生徒像】

- 教科の学習や探究活動、部活動等に主体的に取り組もうとする生徒
- 他者と協力して、様々な出来事に取り組もうとする生徒
- 広く地域社会に興味を持ち、地域社会をよりよくしたいと考えている生徒

5. 努力目標

教職員の協働と、教師と生徒との信頼によって、教育活動の活性化をはかり、知・徳・体の調和のとれた、誠実で活力ある豊かな人間形成を目指す。そのため次の努力目標を設定する。

1. 学習支援の増進
生徒が主体的に知的好奇心や探究心を持つために、生徒の実態に即して学習内容を精選し、指導方法を工夫して学力の向上に努める。
2. 進路支援の徹底
生徒個々の自己理解を促進し、能力・適性に応じた、きめ細かな進路支援に努める。
3. 生徒支援の充実
生徒一人ひとりの人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導・支援する。
4. 特別活動等における主体的な取り組みへの支援
学校行事・生徒会活動・ボランティア活動および部活動等に主体的に取り組めるように指導・支援する。
5. 心身の健康と環境美化の促進
生徒の心身の健康が保たれるよう取り組む。また、清掃その他の活動に進んで参加する態度と勤労を愛する心を育成し、環境の美化に努める。
6. 読書習慣の育成
個々の生徒が心の糧となる読書を体験できるように努め、自己と自己を取り巻く世界を広く眺め、深く考え、人として豊かな生き方を実現できるよう支援する。

各部・学年の努力目標

教務部

- (1) 各教科・各学年との連携を密にし、年間計画のもと、学習支援が円滑に進むように努める。
- (2) 学習習慣の定着と基礎学力の向上を図り、意欲的・主体的に学習する生徒を育てるために、能力と個性に応じた学習の展開、教材研究、公開授業などを通じて授業改善に努める。
- (3) 生徒の適性や進路に応じた教育課程について研究する。
- (4) 読書習慣を育成する
 - ① 図書資料の充実と読書環境の整備に努める。
 - ② 読書意欲を高め、自ら学ぶ力を養うための利用指導をすすめる。
 - ③ 図書館行事をはじめ、教科学習や特別教育活動を通して利用を促進する。
 - ④ 朝読書を活用し、読書習慣の定着を図る。
- (5) 視聴覚教材・ICT機器の利用促進を図り、その利用を通して情報モラルの育成を図る。

進路支援部

- (1) 自己理解を深めながら自らの生き方を模索し、自ら設定した身近な目標に向かって努力する生徒を育てる。
- (2) 生徒の進路意識を高め、適切な進路選択とその実現に向けての支援・助言の充実を図る。
- (3) 学年会・教科会および保護者との連携を深めるなかで、生徒一人ひとりの適性・能力を活かせるよう、きめ細やかな支援体制の確立を目指す。

生徒支援部

- (1) 学校行事・生徒会活動・ボランティア活動および部活動等の充実に努める。
- (2) 規範意識の高揚に努める。
- (3) 基本的生活習慣の確立に努める。
- (4) 思いやりの心を育み、生徒一人ひとりの尊厳を重んじる教育環境の育成に努める。

保健渉外部

- (1) 心身の健康を保ち、主体的に行動できる生徒の育成に努める。
- (2) 清潔で安全な環境の整備に努める。
- (3) PTA 活動の活性化を図り、本校の教育活動に対する理解と協力が得られるよう努める。
- (4) 生徒が利用しやすい購買の運営を考え、環境を整えて生徒の福利の増進に努める。
- (5) 同窓会員相互の親睦を深め、母校の発展に寄与できる組織となるよう努める。

第一学年 有意義な高校生活を送るための基礎を確立する。

- (1) 基本的生活習慣を確立し、学習や特別活動に自主的・継続的に取り組む。
- (2) まわりの人を認め、共に協調し合う態度を養う。
- (3) 広い視野を持ち、将来の進路・目標を見つける努力をする。

第二学年 校訓に基づいて充実した高校生活を送る。

- (1) 節度と品位ある生活態度を心がける。
- (2) 学習・特別活動に自ら意欲的に取り組む。
- (3) 進路目標を明確にし、その実現に向けて努力する。

第三学年 進路に応じた実践力を身につけ、自己の未来を拓く。

- (1) 自主・自立を基本にした自己の確立に努める。
- (2) 最高学年としての立場と責任を自覚し、学校生活全般においてリーダーとしての役割を果たす。
- (3) 進路希望の実現に向けて最大の努力をする。

6. 校 時 表

月曜日・水曜日・金曜日

始業鈴	8:30
SH・健康観察	8:30 ~ 8:40
1	8:45 ~ 9:35
2	9:45 ~ 10:35
3	10:45 ~ 11:35
4	11:45 ~ 12:35
昼食	12:35 ~ 13:15
5	13:15 ~ 14:05
6	14:15 ~ 15:05
清掃	15:05 ~ 15:20
S H	15:20 ~ 15:30
完全下校時刻	19:30

火曜日・木曜日

始業鈴	8:30
SH・健康観察	8:30 ~ 8:40
1	8:45 ~ 9:35
2	9:45 ~ 10:35
3	10:45 ~ 11:35
4	11:45 ~ 12:35
昼食	12:35 ~ 13:15
5	13:15 ~ 14:05
6	14:15 ~ 15:05
7	15:15 ~ 16:05
清掃	16:05 ~ 16:20
S H	16:20 ~ 16:30
完全下校時刻	19:30

7. 生 徒 数

学年	科	組	生徒数		
			男	女	計
1年	普通	1	13	19	32
		2	17	14	31
		3	16	15	31
		4	17	14	31
	計	63	62	125	
2年	普通	1	21	16	37
		2	20	6	26
		3	18	17	35
		4	14	18	32
	計	73	57	130	
3年	普通	1	12	25	37
		2	18	13	31
		3	14	19	33
		4	12	19	31
	計	56	76	132	
総計		192	195	387	

8. 教育課程

令和7年度 第1, 2, 3学年 3か年間教育課程

		普通科 (I系列文系)				普通科 (I系列理系)				普通科 (II系列文系)				普通科 (II系列理系)					
各教科	科目	学年				学年				学年				学年					
		1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計		
国語	現代の国語	2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2	
	言語文化	2	3		3	3		3	3		3	3		3	3		3	3	
	論理国語	4		2	2	4		2	3	5		2	2	4		2	2	4	
	文学国語	4		2	2	4						2	2	4			2	2	4
	国語表現	4										2	2	4			2	2	4
	古典探究	4		2	2	4		2	2	4		2	2	4					
地理歴史	地理総合	2		2		2		2		2		2		2		2		2	
	地理探究	3						3	3								3	3	
	歴史総合	2	2			2	2			2	2			2	2			2	
	日本史探究	3		3	2	0.5					3	2	0.5						0.5
	世界史探究	3		3	2	0.5					3	2	0.5						0.5
公民	公共	2		2		2		2		2		2		2		2		2	
	倫理	2																	
	政治・経済	2			3	3						3	3						
数学	数学I	3	3		3	3		3	3		3	3		3	3		3	3	
	数学II	4		3	3	6		4	4		3	3	6		4	4		4	
	数学III	3						4	4								5	5	
	数学A	2	2			2	2			2	2			2	2			2	
	数学B	2		2		2		2	2		②a		0.2			2		2	
	数学C	2			2	2						②a	0.2				2	2	
	数学総合	2																	
理科	科学と人間生活	2																	
	物理基礎	2					②		0.2			②		0.2				0.2	
	物理	4					2	4	0.6			2	4	0.6				0.6	
	化学基礎	2	2		2	2	②		2	2		2	2	②		2	2	2	
	化学	4					3	2	3	4		6			3	2	3	4	
	生物基礎	2		2	2	4		②		0.2		2	2	4		②		0.2	
	生物	4					2	4	0.6			2	4	0.6				0.6	
	地学基礎	2	2		2	2			2	2		2	2	2		2		2	
	地学	4																	
	化学基礎探究	2			2	0.2					②a	0.2							
地学基礎探究	2			2	0.2														
保健体育	体育	7~6	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7	
	保健	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	
芸術	音楽I	2	2		0.2	2			0.2	2			0.2	2			0.2	0.2	
	音楽II	2								②b			0.2					0.2	
	音楽III	2																	
	美術I	2	2	2		0.2	2	2		0.2	2	2		0.2	2	2		0.2	
	美術II	2									②b		0.2					0.2	
	美術III	2																	
	工芸I	2																	
	工芸II	2																	
	工芸III	2																	
	書道I	2	2		0.2	2			0.2	2			0.2	2				0.2	
	書道II	2									②		0.2					0.2	
	書道III	2																	
	芸術探究	2											②b	0.2				0.2	
外国語	英語コミュニケーションI	3	3		3	3		3	3		3	3		3	3		3	3	
	英語コミュニケーションII	4		4		4		4	4		4	4		4	4		4	4	
	英語コミュニケーションIII	4			4	4		4	4		4	4		4	4		4	4	
	論理・表現I	2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2	
	論理・表現II	2		2		2		1	1	2		2	2	4			1	2	
論理・表現III	2			2	2														
家庭	家庭基礎	2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2	
	家庭総合	4																	
情報	情報I	2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2	
	情報II	2																	
家庭	保育基礎	2~6																	
	ファッション造形基礎	2~10																	
	フード・デザイン	2~6																	
体育	スポーツII	1~18																	
地域探究	文化資源探究	2~6																	
	環境資源探究	2~6																	
小計		30	29	29	88	30	29	29	88	30	29	29	88	30	29	29	88		
総合的な探究の時間		3~6	1	2	5	1	2	2	5	1	2	2	5	1	2	2	5		
ホームルーム活動			1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	
自立活動			※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
合計		32	32	32	96	32	32	32	96	32	32	32	96	32	32	32	96		

備考

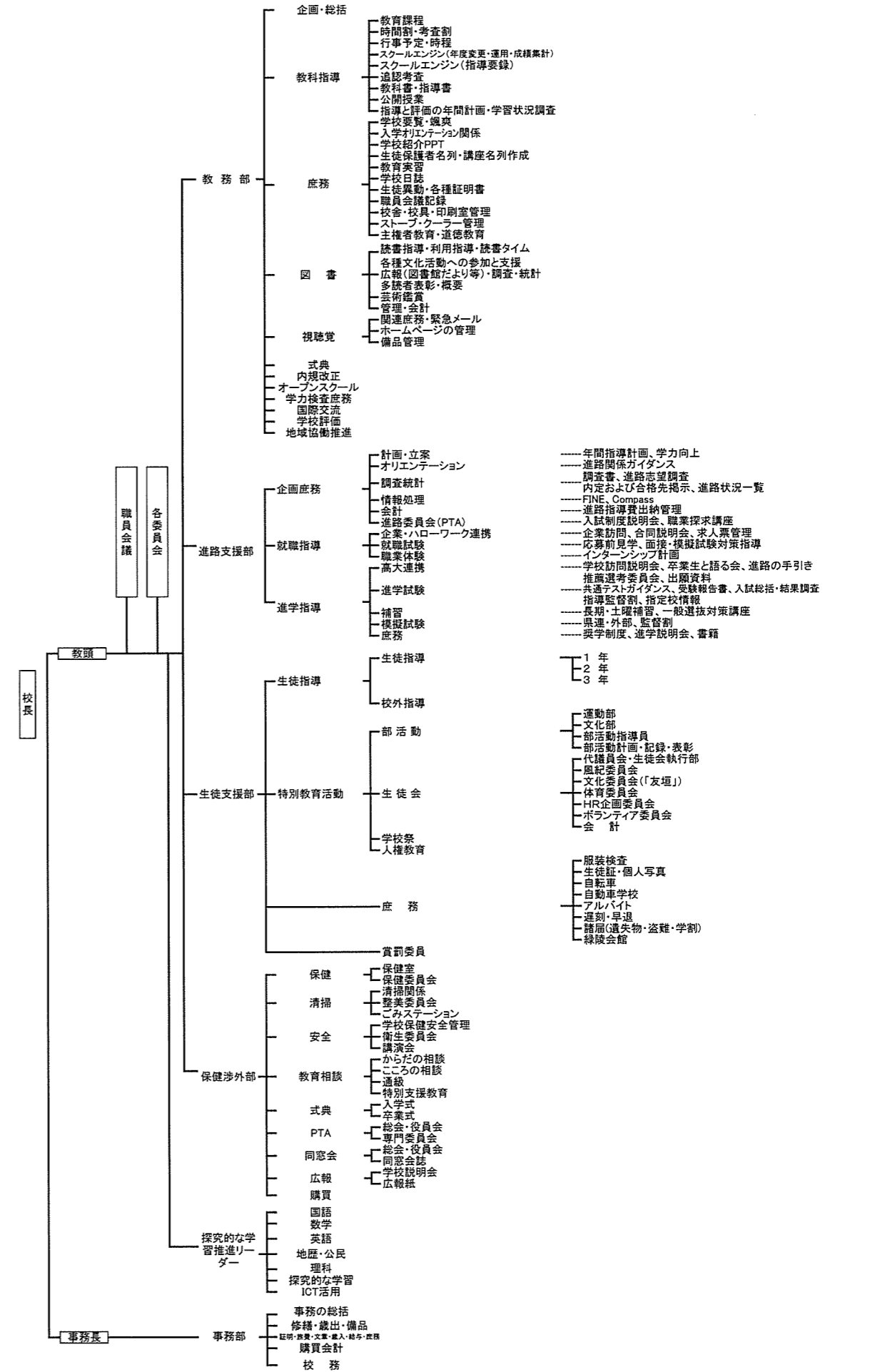
国公立大文系 第2学年の地理歴史は、日本史探究または世界史探究を履修する。第3学年の日本史探究・世界史探究は、第2学年で選択した科目を継続履修する。

国公立大理系 第2学年の物理・生物は物理基礎・生物基礎を履修後に履修する。第3学年の物理・生物の選択は、第2学年で選択した科目を継続履修する。

私立大文系 第2学年の地理歴史は、日本史探究または世界史探究を履修する。第3学年の日本史探究・世界史探究は、第2学年で選択した科目を継続履修する。第2学年で(a)~(d)の中から1科目(2単位)を選択履修する。選択科目は(a)数学B、(b)芸術II、(c)ファッション造形基礎、(d)スポーツIIである。第3学年で(a)~(d)より4単位を選択履修する。組み合わせは(a)数学Cと化学基礎探究、(b)芸術IIIと芸術探究、(c)保育基礎とフードデザイン、(d)スポーツIIである。芸術II・IIIは、第1学年で選択した科目を履修する。

私立大理系 第2学年の物理・生物は物理基礎・生物基礎を履修後に履修する。第3学年の物理・生物の選択は、第2学年で選択した科目を継続履修する。

9. 校務分掌



10. 令和7(2025)年度 年間行事予定

R7 4月		R7 5月		R7 6月	
1	火	1	木	1	日
2	水	2	金	2	月
3	木	3	土	3	火
4	金	4	日	4	水
5	土	5	月	5	木
6	日	6	火	6	金
7	月	7	水	7	土
8	火	8	木	8	日
9	水	9	金	9	月
10	木	10	土	10	火
11	金	11	日	11	水
12	土	12	月	12	木
13	日	13	火	13	金
14	月	14	水	14	土
15	火	15	木	15	日
16	水	16	金	16	月
17	木	17	土	17	火
18	金	18	日	18	水
19	土	19	月	19	木
20	日	20	火	20	金
21	月	21	水	21	土
22	火	22	木	22	日
23	水	23	金	23	月
24	木	24	土	24	火
25	金	25	日	25	水
26	土	26	月	26	木
27	日	27	火	27	金
28	月	28	水	28	土
29	火	29	木	29	日
30	水	30	金	30	月
		31	土		
職員胃検診 交通安全・あいさつ・風紀週間		内科検診 1年・職員X線撮影検査		内科検診 面接・小論文講座①(3年) 植え替えボランティア	

R7 7月		R7 8月		R7 9月	
1	火	1	金	1	月
2	水	2	土	2	火
3	木	3	日	3	水
4	金	4	月	4	木
5	土	5	火	5	金
6	日	6	水	6	土
7	月	7	木	7	日
8	火	8	金	8	月
9	水	9	土	9	火
10	木	10	日	10	水
11	金	11	月	11	木
12	土	12	火	12	金
13	日	13	水	13	土
14	月	14	木	14	日
15	火	15	金	15	月
16	水	16	土	16	火
17	木	17	日	17	水
18	金	18	月	18	木
19	土	19	火	19	金
20	日	20	水	20	土
21	月	21	木	21	日
22	火	22	金	22	月
23	水	23	土	23	火
24	木	24	日	24	水
25	金	25	月	25	木
26	土	26	火	26	金
27	日	27	水	27	土
28	月	28	木	28	日
29	火	29	金	29	月
30	水	30	土	30	火
31	木	31	日		
福井大学説明会 調査書記入説明会 面接・小論文講座②(3年) 小論文模試				福井県立大学説明会 就職応募書類提出締切	

R7 10月		R7 11月		R7 12月	
1	水	1	土	1	月
2	木	2	日	2	火
3	金	3	月	3	水
4	土	4	火	4	木
5	日	5	水	5	金
6	月	6	木	6	土
7	火	7	金	7	日
8	水	8	土	8	月
9	木	9	日	9	火
10	金	10	月	10	水
11	土	11	火	11	木
12	日	12	水	12	金
13	月	13	木	13	土
14	火	14	金	14	日
15	水	15	土	15	月
16	木	16	日	16	火
17	金	17	月	17	水
18	土	18	火	18	木
19	日	19	水	19	金
20	月	20	木	20	土
21	火	21	金	21	日
22	水	22	土	22	月
23	木	23	日	23	火
24	金	24	月	24	水
25	土	25	火	25	木
26	日	26	水	26	金
27	月	27	木	27	土
28	火	28	金	28	日
29	水	29	土	29	月
30	木	30	日	30	火
31	金			31	水
		交通安全・あいさつ・風紀週間 エッセル板植え替えボランティア		模試(3年:東進プレ共通テスト) 面接・小論文講座③(2年)	

R8 1月		R8 2月		R8 3月	
1	木	1	日	1	日
2	金	2	月	2	月
3	土	3	火	3	火
4	日	4	水	4	水
5	月	5	木	5	木
6	火	6	金	6	金
7	水	7	土	7	土
8	木	8	日	8	日
9	金	9	月	9	月
10	土	10	火	10	火
11	日	11	水	11	水
12	月	12	木	12	木
13	火	13	金	13	金
14	水	14	土	14	土
15	木	15	日	15	日
16	金	16	月	16	月
17	土	17	火	17	火
18	日	18	水	18	水
19	月	19	木	19	木
20	火	20	金	20	金
21	水	21	土	21	土
22	木	22	日	22	日
23	金	23	月	23	月
24	土	24	火	24	火
25	日	25	水	25	水
26	月	26	木	26	木
27	火	27	金	27	金
28	水	28	土	28	土
29	木			29	日
30	金			30	月
31	土			31	火
バック模試				面接・小論文講座④(2年)	

11. 生徒に関する調査

(1) 出身中学校別生徒数

区分 学年		三國中	芦原中	金津中	坂井中	春江中	その他	県外	合計
		1年	男	29	2	4	9	17	2
	女	31	4	3	7	12	5	0	62
2年	男	39	4	10	10	9	1	0	73
	女	28	7	4	4	9	4	1	57
3年	男	31	2	4	8	8	2	1	56
	女	42	9	8	3	8	3	3	76
計	男	99	8	18	27	34	5	1	192
	女	101	20	15	14	29	12	4	195
合計		200	28	33	41	63	17	5	387

(2) 通学状況

区分 学年		徒歩	自転車	バス	電車	その他	合計
		1年	男	8	15	0	25
	女	19	6	0	23	14	62
2年	男	15	21	1	27	9	73
	女	11	1	0	17	28	57
3年	男	18	8	3	13	14	56
	女	23	4	2	25	22	76
合計		94	55	6	130	102	387

(3) 部活動状況

No.	部活動	1年			2年			3年			計		
		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	合計
1	男子バレーボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	女子バレーボール	0	4	4	0	3	3	0	3	3	0	10	10
3	男子バスケットボール	7	0	7	14	1	15	8	1	9	29	2	31
4	陸上	4	2	6	9	2	11	4	5	9	17	9	26
5	バドミントン	11	8	19	3	0	3	8	3	11	22	11	33
6	ソフトボール	0	7	7	0	8	8	0	7	7	0	22	22
7	ソフトテニス	3	0	3	5	5	10	7	2	9	15	7	22
8	卓球	1	3	4	0	0	0	4	1	5	5	4	9
9	野球	7	0	7	9	3	12	2	0	2	18	3	21
10	柔道	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
11	サッカー	6	4	10	3	0	3	7	4	11	16	8	24
12	ヨット	5	2	7	3	0	3	5	5	10	13	7	20
運動部計		44	30	74	47	22	69	45	31	76	136	83	219
13	吹奏楽	4	9	13	5	8	13	1	8	9	10	25	35
14	美術	0	2	2	1	3	4	1	3	4	2	8	10
15	書道	0	3	3	0	7	7	0	5	5	0	15	15
16	写真	1	4	5	2	2	4	1	5	6	4	11	15
17	茶道	2	1	3	3	1	4	0	4	4	5	6	11
18	調理	0	13	13	0	4	4	0	6	6	0	23	23
19	琴	1	0	1	0	1	1	0	3	3	1	4	5
20	かるた	0	1	1	0	1	1	0	2	2	0	4	4
21	地域探究	3	7	10	6	13	19	1	14	15	10	34	44
文化部計		11	40	51	17	40	57	4	50	54	32	130	162
合計		55	70	126	64	62	127	49	81	130	168	213	381

12. 図書館

(1) 運用

閲覧方式 開架式 館内閲覧自由

館外貸出 2週間

開館時間 平日は午前8時15分より午後6時00分まで。

学校の休日は休館とする。長期休暇中は特別に開館日を設ける。

(2) 設備

閲覧室 160m²、司書室 30m²、書庫 30m²

閲覧机 9脚(椅子42)、キャレルデスク 5脚(椅子5)、円形テーブル 1脚(椅子4)

楕円形テーブル 1脚(椅子6)

(3) 年間計画

新着図書案内(各月)、「図書館だより」発行(各月)、委員会企画(毎月)、昼休みの校内放送(各週)、芸術鑑賞(企画と運営)、読書タイム(各学期各一週間)の実施、学校祭への参加(文化祭企画、体育祭放送)、読書実態調査の実施、図書館概要発行、新入生対象図書館利用指導、多読者表彰、坂井地区合同企画

(4) 資料

(イ) 分類別蔵書冊数 (令和7年3月末現在)

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	語学	文学	その他	計
冊数	1,005	1,073	2,756	3,295	1,995	1,235	424	2,931	1,060	9,481	236	25,491
%	3.9	4.2	10.8	12.9	7.8	4.8	1.7	11.5	4.2	37.2	0.9	100

(DVDを含む。但し和漢書・問題集は含まない。)

(ロ) 定期刊行物

新聞 2紙(朝日新聞、福井新聞) 福井新聞縮刷版DVD 図書館教育ニュース

雑誌 17誌(オレンジページ、墨、バンドジャーナル、Newton、アニメージュ、月刊ピアノ、NEWSがわかる、Sports Graphic Number、ダ・ヴィンチ、フォトコン、芸術新潮、たくさんのふしぎ、LD,ADHD & ASD、歴史街道、明星、月刊バスケットボール、陸上競技マガジン)

(5) 教育機器配備一覧表

表示用教材	液晶大型ディスプレイ	映像記録教材	デジタルビデオカメラ
	プロジェクター		デジタルカメラ
	実物投影機		生徒用
	DVD/ブルーレイ		教師用
放送用教材	放送設備	映像ソフト	ビデオ
その他	ドローン		DVD
	体育館大型スクリーン		

13. 卒業生に関する調査

(1) 令和6年度卒業生の進路状況

	進学			就職			未定	計
	大学	短大	専修	県内	県外	公務員		
合計	69	8	33	12	3	1	2	128

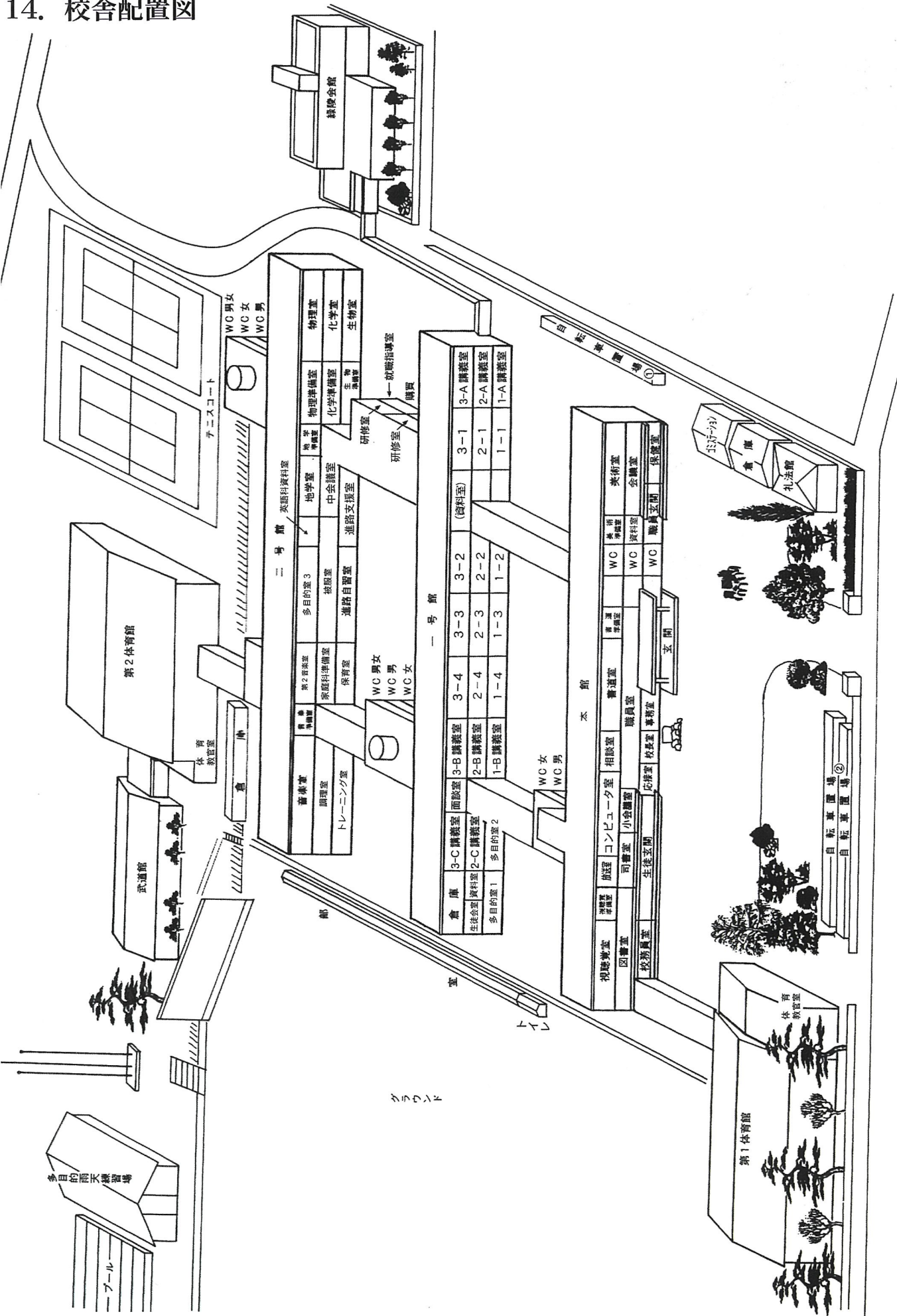
(2) 学校別合格者数

学校名	卒業年度					学校名	卒業年度					学校名	卒業年度				
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和3年		令和4年	令和5年	令和6年	令和3年	令和4年		令和5年	令和6年			
福井県立	教育	2	1	1		私立短期大学	仁愛	8	10	11	14	仁愛女子	7	6	10	3	
	国際地域		1	1			福井医療	12	15	7	9	金城		1	1	1	
	工	3	5	3	6		福井工業	26	9	14	27	関西外国語				2	
	経済	5	3	3	4		金沢学院	4	3			その他	2	1	3	3	
	生物資源	1		1	3		金沢工業	14	4	2	4	合計	9	8	14	9	
	看護福祉	1	2	3			金沢星陵	2	1	4	3						
	海洋生物資源		1	1			金城			1	3						
	敦賀市立看護	1					北陸	5		5	1						
	茨城		1				東京電機			1							
	群馬				1		東海				4						
新潟	1				私中京				2								
上越教育		1			名城		2	1									
富山		1			関西	3	3	1	1								
金沢				1	立命館	3	1										
滋賀		1			追手門学院			3									
鹿屋体育	1				京都産業	6											
都留文科		1			龍谷	4	1										
長岡造形			1		佛教	1			1								
富山県立	1		1	1	大谷	1	6										
公立小松	5		1	1	大阪学院				2								
愛知県立				1	近畿	5	1	4									
福知山公立	1	2		1	京都先端科学			2	2								
大阪公立				1	京都外国語	3	1										
合計	22	20	16	20	合計	117	69	72	85								

(3) 令和6年度卒業生の就職先

民間企業	
福井県警	パナソニックライティングシステムズ株式会社
株式会社 金津村田製作所	株式会社 芦原国際温泉 美松
株式会社 UACJ 福井製造所	佐川急便株式会社
日本郵便株式会社北陸支社	株式会社 叙々苑
株式会社 フード福井	横浜低温流通株式会社
株式会社 三景	BLISS NAIL
株式会社 齊藤重一建築	韓国料理 明洞

14. 校舎配置図





交通

鉄道：えちぜん鉄道 三国芦原線
三国駅下車 徒歩 5分

バス：京福バス
三国駅前下車 徒歩 5分

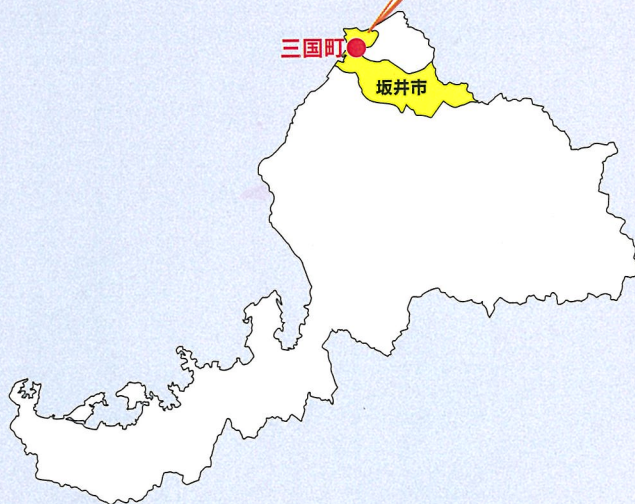


Photo : 輪渡辺写真館

〒913-8555

福井県坂井市三国町緑ヶ丘2丁目1番3号

TEL (0776) 81-3255

FAX (0776) 81-3566

ホームページ <http://www.mikuni-h.ed.jp>